

幼・保育園、小・中学校子ども会ほか団体関係者の皆さまへ

平成 30 年度 東山動植物園

環境教育プログラム

(植物園編)


植物1

園児・小学生(全)


講義・実習

植物入門コース

空飛ぶタネを飛ばそう

所要時間	30～60分	
開催場所	東山植物園（植物会館・園内）	
募集人員／回	10～40名	
実施可能時期	通年（開園日）	
用意が必要なもの		
内容	タンポポのように風に乗って、子孫を増やす風散布種子について学びます。空飛ぶ乗り物（グライダー）のヒントになったと言われるアルソミトラの種子（本物）を紹介し、その模型を作って飛ばします。実際にいろいろな種子を飛ばすことを通して、楽しみながら植物の繁殖戦略について学びます。	
備考	出前講座としても対応しています。	

■ 申込・問い合わせ先等

申込先	 東山動植物園	www.higashiyama.city.nagoya.jp/	
	TEL : 052-782-2111	FAX : 052-782-2140	E-mail : higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp


園児・小学生(全)

講義・実習


植物入門コース

植物2

ひがしやま植物実験室

所要時間	15～60分	
開催場所	東山植物園（植物会館）	
募集人員／回	10～40名	
実施可能時期	通年（開園日）	
用意が必要なもの		
内容	観察や実験を通して、植物の不思議を体験します。 <ul style="list-style-type: none">顕微鏡や虫めがねで、植物のミクロな世界を覗くデンプンのおもしろ感触体験酸による植物の色の変化植物のいろいろな香り体験	
備考	写真：キリ種子（2mm）の拡大画像	

■ 申込・問い合わせ先等

申込先	 東山動植物園	www.higashiyama.city.nagoya.jp/	
	TEL : 052-782-2111	FAX : 052-782-2140	E-mail : higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp

植物3

園児・小学生(全)

講義・実習


植物をもっと深く学ぶ

ドングリ博士になろう



所要時間	15～30分
開催場所	東山植物園（植物会館・園内）
募集人員／回	10～40名
実施可能時期	10～11月（開園日）
用意が必要なもの	
内容	ドングリは、ブナ科植物の実の総称。植物園では、アベマキ、コナラ、アラカシなどを中心に10種以上のどんぐりを見ることができます。ドングリのつくり、ドングリの見分け方などについて学びます。
備考	

■ 申込・問い合わせ先等

申込先	 www.higashiyama.city.nagoya.jp/		
	TEL : 052-782-2111	FAX : 052-782-2140	E-mail : higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp

植物4

園児・小学生(全)

実習


植物をもっと深く学ぶ

植物の標本づくり



所要時間	40～60分
開催場所	東山植物園（植物会館）
募集人員／回	10～40名
実施可能時期	通年（開園日）
用意が必要なもの	筆記用具（サインペン）
内容	植物で、標本づくりをしてみましょう！植物を厚紙にきれいに並べて、貼り、名前を書きただけで、素敵な標本が出来上がります。並べてみると、ふだん見過ごしていた植物の多様性を知ることができます。
備考	

■ 申込・問い合わせ先等

申込先	 www.higashiyama.city.nagoya.jp/		
	TEL : 052-782-2111	FAX : 052-782-2140	E-mail : higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp

植物5

小学生・中学生(全)

講義・実習


植物をもっと深く学ぶ

植物の不思議を知ろう！ ～いろいろな葉っぱ～



所要時間	15～60分
開催場所	東山植物園（植物会館・園内）
募集人員／回	10～40名
実施可能時期	通年（開園日）
用意が必要なもの	筆記用具
内容	植物の大切な器官である『葉』についての働きや、形について学びます。「葉っぱ」ときくと、どんな葉っぱを想像するでしょうか？よく観察すると植物の種類によって葉の形、葉の厚さ、縁のギザギザの様子などが、違うことが見えてきます。植物園の中で、葉に注目し観察して、植物の多様性を学びます。
備考	

■ 申込・問い合わせ先等

申込先	 東山動植物園 www.higashiyama.city.nagoya.jp/		
	TEL : 052-782-2111	FAX : 052-782-2140	E-mail : higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp

植物6

小学生・中学生(全)

講義・実習


植物をもっと深く学ぶ

植物の不思議を知ろう！ ～食虫植物～



所要時間	30～60分
開催場所	東山植物園（植物会館・園内）
募集人員／回	10～40名
実施可能時期	通年（開園日）
用意が必要なもの	筆記用具
内容	植物の世界には、昆虫を捕らえ、私たちの胃袋のように消化液を出して分解・栄養分として吸収して生きている植物がいます。昆虫の捕らえ方は植物種類によって様々。葉を変形させて、昆虫をはさんだり、ツボに落としこんだり、また、ねばねばの粘液を出したりして昆虫をくっつけたりします。植物園の食虫植物コレクションを紹介します。
備考	

■ 申込・問い合わせ先等

申込先	 東山動植物園 www.higashiyama.city.nagoya.jp/		
	TEL : 052-782-2111	FAX : 052-782-2140	E-mail : higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp


植物7

小学生(3~6年生)


講義・実習

植物をもっと深く学ぶ

植物の不思議を知ろう！ ～花の多様性～

所要時間	30～60分	
開催場所	東山植物園（植物会館・園内）	
募集人員／回	10～40名	
実施可能時期	通年（開園日）	
用意が必要なもの	筆記用具	
内容	植物の花はなぜ咲くのでしょうか？植物は自分の子孫を残すために、種子をつくりますが、そのためには受粉を行わなくてはなりません。動くことができない植物の受粉には、主に昆虫や鳥が関わっています。花と言ってもその姿は様々であり、その多様性は、昆虫や鳥を引き寄せる工夫のために生まれています。	
備考		

■ 申込・問い合わせ先等

申込先	 東山動植物園	www.higashiyama.city.nagoya.jp/		
	TEL : 052-782-2111	FAX : 052-782-2140	E-mail : higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp	


植物8

小学生(3~6年生)


講義・実習

植物をもっと深く学ぶ

植物の不思議を知ろう！ ～植物を支える根の働き～

所要時間	60分	
開催場所	東山植物園（植物会館・園内）	
募集人員／回	10～40名	
実施可能時期	通年（開園日）	
用意が必要なもの	筆記用具	
内容	植物の大切な器官である『根』について学びます。根の働き、また生息地の環境に対応したさまざまな形についてなどを学びます。ゴボウのように地中にまっすぐに伸びる根から、ガジュマルのように空気中に根をぶら下げて、空気中の水分を吸収しているもの、タコノキのように体をしっかり支える根を出すものまで多様性にあふれています。植物園で、根に注目して観察し、植物の多様性を学びます。	
備考	植物体の生育状況により、講習が行えないことがありますので、事前にご相談ください。	

■ 申込・問い合わせ先等

申込先	 東山動植物園	www.higashiyama.city.nagoya.jp/		
	TEL : 052-782-2111	FAX : 052-782-2140	E-mail : higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp	


植物9

小学生(3~6年生)


講義・実習

植物をもっと深く学ぶ

植物の不思議を知ろう！ ～つる植物の生きる力～

所要時間	60分	
開催場所	東山植物園（植物会館・園内）	
募集人員/回	10~40名	
実施可能時期	通年（開園日）	
用意が必要なもの	筆記用具	
内容	アサガオやツルレイシのような「つる植物」に注目して観察します。「つる」と一言でいっても、実は、まきひげ型、付着型、吸盤型などいろいろ「つる」があります。エンドウなどは、葉っぱの先端が変形して、つるになっています。つる植物の力強い生き方をお話します。	
備考		

■ 申込・問い合わせ先等

申込先	 東山動植物園 www.higashiyama.city.nagoya.jp/		
	TEL : 052-782-2111	FAX : 052-782-2140	E-mail : higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp


植物10

小学生(3~6年生)


講義・実習

植物をもっと深く学ぶ

植物の不思議を知ろう！ ～種子のぼうけん～

所要時間	90分	
開催場所	東山植物園（植物会館・園内）	
募集人員/回	10~40名	
実施可能時期	通年（開園日）	
用意が必要なもの	筆記用具	
内容	ふだん動けない植物は、子孫を増やすため、種子の時期に様々な工夫をしています。風に乗ったり、水に流されたり、動物にくっついたり、自分ではじけたり。気がつく私たち人間までもが種子の運搬を担っている事も。種子散布を通して、植物の生きる力を学びます。	
備考		

■ 申込・問い合わせ先等

申込先	 東山動植物園 www.higashiyama.city.nagoya.jp/		
	TEL : 052-782-2111	FAX : 052-782-2140	E-mail : higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp

植物11

小学生(3~6)

講義・実習


植物をもっと深く学ぶ

植物の不思議を知ろう！ ～冬の植物の姿～



所要時間	90～120分
開催場所	東山植物園（植物会館・園内）
募集人員／回	10～40名
実施可能時期	通年（要相談）
用意が必要なもの	筆記用具
内容	冬の植物園をゆっくり観察し、植物が寒い季節を乗り切るために備えている知恵を学びます。春に花を咲かせるための大切な芽を、羽毛のような毛で包んだり、ピカピカのワックスを出して芽を保護したり、鱗のような硬いもので芽を包んだり、個性豊かな装いの冬芽を観察します。
備考	

■ 申込・問い合わせ先等

申込先	 東山動植物園	www.higashiyama.city.nagoya.jp/		
	TEL : 052-782-2111	FAX : 052-782-2140	E-mail : higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp	

植物12

小学生(3年生)以上

講義・実習


植物をもっと深く学ぶ

植物の不思議を知ろう！ ～植物と昆虫の関係～



所要時間	30～60分
開催場所	東山植物園（植物会館・園内）
募集人員／回	10～40名
実施可能時期	通年（開園日）
用意が必要なもの	筆記用具
内容	花粉を運んでくれるハチ、カタクリやスミシの種子を運んでくれるアリなど、植物と深く関わりを持って暮らす昆虫たち。そんな植物と昆虫の関係を学びます。
備考	

■ 申込・問い合わせ先等

申込先	 東山動植物園	www.higashiyama.city.nagoya.jp/		
	TEL : 052-782-2111	FAX : 052-782-2140	E-mail : higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp	

植物13

小学生(3年生)以上

講義・実習


植物と環境について学ぶ

東山の森を知ろう



所要時間	30~90分
開催場所	東山植物園（植物会館・園内）
募集人員/回	30~40名
実施可能時期	通年（開園日）
用意が必要なもの	筆記道具
内容	東山にある身近な植物について学ぶことにより、自分の周りの環境について考える機会になります。植物園内にある植物の枝や木の実など、実際に植物に触れながら観察します。出前講座では映像により、植物園内の植物を紹介します。
備考	

■ 申込・問い合わせ先等

申込先	 東山動植物園 www.higashiyama.city.nagoya.jp/		
	TEL : 052-782-2111	FAX : 052-782-2140	E-mail : higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp

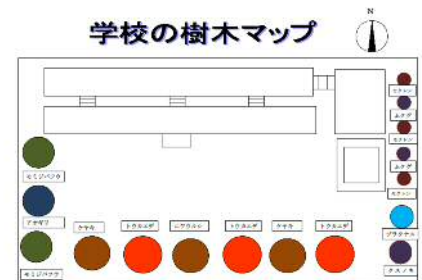
小学生・中学校(全)

講義・実習

植物と環境について学ぶ


植物14

学校の樹木マップを作ろう



所要時間	90分
開催場所	東山植物園（植物会館・園内）
募集人員/回	10~40名
実施可能時期	通年（開園日）
用意が必要なもの	校庭の図面 筆記用具
内容	植物園の職員が、学校へ出向いて、学校の校庭にある樹木を解説しながら、みんなで樹木マップをつくります。学校にある植物の名前や性質を知ることにより、植物への関心を高めます。
備考	出前講座として対応します。

■ 申込・問い合わせ先等

申込先	 東山動植物園 www.higashiyama.city.nagoya.jp/		
	TEL : 052-782-2111	FAX : 052-782-2140	E-mail : higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp

小学生(3年生)以上

講義・実習


植物と環境について学ぶ

植物15

植物の不思議を知ろう
～サボテンの多様性～

所要時間	30～60分
開催場所	東山植物園（植物会館・園内）
募集人員／回	10～40名
実施可能時期	通園（開園日）
用意が必要なもの	筆記用具
内容	植物園の中南米産植物温室に入ると、金鯨（キンシャチ）を始め、いろいろなサボテンが迎えてくれます。サボテンと言ってもその形態はさまざま。砂漠のような乾いた土地に生息するものから、湿潤な雲霧林に生息するものまで、実に様々です。同じ仲間でありながら、生育環境によってそれぞれ姿を変えてきたサボテン。その多様性を学びます。
備考	

■ 申込・問い合わせ先等

申込先	 www.higashiyama.city.nagoya.jp/		
	TEL : 052-782-2111	FAX : 052-782-2140	E-mail : higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp

小学生(3年生)以上

講義・見学

植物園を知る


植物16

植物園のしごと



所要時間	60分
開催場所	東山植物園（植物会館、園内）
募集人員／回	10～20名
実施可能時期	通年（開園日）
用意が必要なもの	筆記用具。事前に質問がある方は、質問事項を送付してください。
内容	植物園が、植物の展示育成を通して行っている様々な仕事を紹介します。また、植物園が担っている役割について学びます。
備考	

■ 申込・問い合わせ先等

申込先	 www.higashiyama.city.nagoya.jp/		
	TEL : 052-782-2111	FAX : 052-782-2140	E-mail : higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp

小学生・中学校(全)

講義・実習

植物園を知る


植物17

植物園80年の歴史を知ろう



所要時間	60分
開催場所	東山植物園（植物会館・園内）
募集人員／回	10～40名
実施可能時期	通年（開園日）
用意が必要なもの	
内容	東山植物園は、昭和12年（1937年）3月3日に開園しました。大正15年に都市計画公園（第16号公園）は、森林公園として計画されていました。植物園建設の動機となったのは、昭和7年の植物園設置に関する陳情書と、市立植物園の建設費の指定寄付でした。植物園の誕生に深く関わった人々の想いを伝えます。
備考	写真：昭和12年当時の植物園（温室は現在の重要文化財温室）

■ 申込・問い合わせ先等

申込先	 www.higashiyama.city.nagoya.jp/		
	TEL : 052-782-2111	FAX : 052-782-2140	E-mail : higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp

植物18

小学生(3年生)以上

講義・見学


植物と暮らし

暮らしに役立つ植物の力



所要時間	30～60分
開催場所	東山植物園（植物会館・合掌造りの家）
募集人員／回	10～40名
実施可能時期	通年（開園日）
用意が必要なもの	筆記用具
内容	私たちの暮らしの中には、植物の形からヒントを得て作られたものや、植物がもつ様々な成分を暮らしに役立てているものがあります。例えば、植物園のサガロ温室にそびえるベンケイチュウは、その維管束の構造が鉄筋コンクリート構造のヒントになったと言われています。先人たちは、植物から様々なヒントを得て、それを活かし暮らしを豊かにしてきました。暮らしに活かされている植物の力について、お話します。
備考	

■ 申込・問い合わせ先等

申込先	 www.higashiyama.city.nagoya.jp/		
	TEL : 052-782-2111	FAX : 052-782-2140	E-mail : higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp

植物19

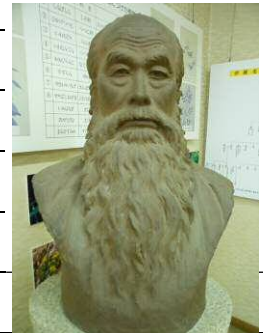
小学生(3年生)以上

講義・見学


伊藤圭介を知ろう

名古屋が生んだ植物学者 「伊藤圭介」

所要時間	30~60分
開催場所	東山植物園（植物会館、伊藤圭介記念室、園内）
募集人員／回	10~20名
実施可能時期	5~10月（開園日）
用意が必要なもの	筆記用具
内容	江戸末期から明治時代に活躍した日本を代表する植物学者「伊藤圭介」について学びます。伊藤圭介は日本で初めて「おしべ」「めしべ」「花粉」などの言葉を使ったことで有名です。またヒカゲツツジ（学名：Rhododendron keiskei）やイワナンテン（学名 Leucothoe keiskei）など多くの植物の学名に伊藤圭介の名前がついています。植物会館内にある伊藤圭介記念室での解説や園内にある伊藤圭介にちなんだ植物について紹介します。
備考	



■ 申込・問い合わせ先等

申込先	 www.higashiyama.city.nagoya.jp/		
	TEL : 052-782-2111	FAX : 052-782-2140	E-mail : higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp

植物20

中学生

講義・見学


東海地方の植物

絶滅危惧種<<東海地方を中心とした>> と私たちの身近に起きていること

所要時間	60~90分
開催場所	東山植物園（植物会館・園内）
募集人員／回	10~40名
実施可能時期	通年（開園日）
用意が必要なもの	筆記用具
内容	植物は、現在4種に1種の絶滅が心配されています。私たちの住む東海地方で代表的なものとしてシデコブシ（モクレン科）、マメナシ（バラ科）、シラタマホシクサ（ホシクサ科）など絶滅が心配されています。絶滅危惧植物とともに、この地方で、深刻化していたカシノナガキクイムシの問題の解説を通して、私たちの生活が環境に与える影響を考えます。私たちも自然の中の一員だということを認識し、今後どうしていけばいいのかを、みんなで考えます。
備考	



■ 申込・問い合わせ先等

申込先	 www.higashiyama.city.nagoya.jp/		
	TEL : 052-782-2111	FAX : 052-782-2140	E-mail : higashiyamaprogram@lime.ocn.ne.jp